

消防業務の取り組むべき課題や改善案を訴える 「令和7年度消防職員意見発表岡山県大会」を開催します

県下14消防本部から選抜された消防職員14人が、今後の消防・防災への取り組むべき課題や業務の改善案等について発表します。

1 日 時

令和7年4月11日(金)15時～17時30分

2 場 所

ANAクラウンプラザホテル岡山 1階「曲水」(北区駅元町)

3 内 容

- ・主催:岡山県消防長会(事務局:岡山市消防局)
- ・発表時間は1人5分。発表内容や表現力を有識者等8人の審査員が審査します。
- ・この大会において最優秀賞に選ばれた2人の職員は、中国支部消防職員意見発表会(令和7年4月25日岡山市)に出場します。さらに中国支部で最優秀賞に選ばれた1人は全国大会(令和7年5月30日広島県広島市)に出場します。
- ・出場者名簿・発表テーマなどは、別紙にてご確認ください。



4 その他

取材を希望する社は、会場「曲水」前に報道受付を設けていますので、14時45分までにお越しください。

【問い合わせ先】

岡山市消防局 消防企画総務課 羽場・長友 直通086-234-9970 内線3771

出 場 者 名 簿 等

発表 順位	所 属	階 級	氏 名	発 表 テ ー マ	発 表 要 旨
1	新見市消防本部	消防士	田中 陽登	若い世代のボトムアップ	若者向けのイベントやSNSを活用して、若い人たちに楽しみながら救命処置を普及し、緊急時に行動できる人を増やしていきたい。
2	東備消防組合消防本部	消防士長	旧田 裕也	「次世代のバイスタンダー」	幼児が行う「心肺蘇生法ごっこ」からヒントを得た、次世代のバイスタンダー育成について
3	倉敷市消防局	消防士	真榮喜 貴弘	こころは見えない。だから、聴く。	救急隊員が心のサポーターとなり、精神疾患の認識と理解を深め、傷病者に寄り添う事で適切な医療機関への搬送に繋げたい。
4	瀬戸内市消防本部	消防士長	本庄 幹	安心を音にのせる	「音」を救急車内で活用し、傷病者の不安や痛みを軽減、救急隊員のストレスを和らげることで救急医療の質向上を目指す。
5	岡山市消防局	消防士	松本 康浩	踏み出す勇氣	自動車学校と協力し、出前講座を行い、市民の方に求める運転方法を習得してもらうことで、安全迅速な救急搬送に協力してもらう。
6	高梁市消防本部	消防士	芳賀 祥浩	乳児の命を守るために妊婦さんとそのパートナーさんができること	乳児の身に何か起きた時、皆さんは咄嗟に対処することができますか？ 乳児の命を救うことができるのは親であるあなたたちです。
7	真庭市消防本部	消防士長	横木 勇祐	これからの広報活動	従来の広報活動だけでなく、消防からの情報発信など、新たな広報活動も増えていくなかで、これからの広報活動について提案する。
8	井原地区消防組合消防本部	消防士	丸山 拓郎	未来を守る消防のかたち ～AIとともに進む災害対応～	今後、消防でも主流になるAIや最新テクノロジーと、長年の消防業務で得た知識を上手く融合させ、柔軟な消防体制を作る。
9	赤磐市消防本部	消防士長	山中 明日香	「給食で消防を身近に」	火災予防運動での行事で、保育園、幼稚園、小学校などの幼少期から継続的に消防を身近に感じてもらうために、どの年代でも必ずあるもの、「給食」を使って消防をアピールすることによって、食する時にも消防を感じてもらい、大人になってからも、給食の思い出から一緒に消防を思い出してもらえるようになり、次世代の子供たちにも引き継いでいきつつ、消防への理解と火災予防の向上につなげていきたい。
10	津山圏域消防組合消防本部	消防士	岸本 達也	高齢者の火災による死者ゼロへ	地域での助け合う「共助」、消防職員、消防団員の支援による「公助」から、高齢者を火災から守る対策について提案します。
11	美作市消防本部	消防士	内海 壮志郎	地域防災の要	自身の経験から、消防団の必要性について伝えます。
12	玉野市消防本部	消防士長	山内 基豊	見える消火器	視界が悪い中では消火器を見つけることは困難になります。そこで消火器の設置において、蓄光式標識の導入を提案します。
13	総社市消防本部	消防士	加藤 颯	光でつなぐ安全と効率化	消防水利の外周にLED装置を設置することで、迅速な水利の確保につながり、消防隊の活動を効率化することができる。
14	笠岡地区消防組合消防本部	消防士	赤松 鈴	無事カレンダー	「無事カレンダー」とは、孤独死や重症化してしまう人を1人でも減らすためのカレンダーです。